

内閣総務官室と いうところ



内閣官房内閣総務官室 命 内閣第3担当主査兼官報担当主査
併任 内閣府大臣官房総務課官報係長

永岡 大介

NAGAOKA Daisuke

- 平成19年 4月 総務省採用
関東管区行政評価局
- 平成20年 4月 東京行政評価事務所行政相談課
- 平成21年 7月 東京行政評価事務所総務課
- 平成22年 7月 東京行政評価事務所評価監視調査官
- 平成23年 4月 行政評価局評価監視官付
- 平成26年 4月 消防庁国民保護・防災部防災課防災企画係長
- 平成28年 4月 現職

『緊張感を持ちながら』

私は、現在、内閣官房内閣総務官室に出向中です。官庁訪問をされている皆さんにとっても耳慣れない組織かもしれませんが、内閣総務官室は内閣の庶務を担う「縁の下の力持ち」ともいえる組織であり、私は、週に2回開催される閣議に関する事務を担当する部署に配属されています。

閣議は、全閣僚出席の下、法律、政令の公布や国政に関する重要事項が決定する行政政府における最高の意思決定の場です。毎回の閣議が滞りなく行われるよう、資料の確認など諸々の準備を行っています。

また、私は官報に関する事務も併任しており、具体的には閣議で公布決定された法律や政令などを官報に掲載する事務を行っています(わが国では、官報に掲載することをもって、公布とするのが慣例となっています)。

いずれの業務も、ミスの許されないものですので、日々、緊張感を持ちつつ業務に取り組んでいます。

『いろんな仕事があります』

私は、20代後半の頃に、行政評価に興味を持って、民間企業から転身して総務省に入省したのですが、その後配属された総務省の外局である消防庁では災害対応に携わったり、内閣総務官室では内閣改造の現場に立ち会ったりと、入省当時には想像もしていなかった業務を経験することができました。これほど多様な業務に携われることは、民間企業ではあまりないのではないかと思います。

仕事の内容は様々ですが、それぞれの職場での上司や同僚と過ごした経験は、次の仕事に活かしていくことができます。今後また、私が行政評価を担当することがあれば、これまでの経験を活かし、新たな視点でチェックできればと思っています。

総務省は、多種多様な業務が用意された職場ですので、きっと皆さんの好奇心を満たしてくれると思います。

Some One Week

Monday

A省から、至急、官報に掲載したい案件の相談があったため、上司と相談の上、官報を印刷している国立印刷局と調整します。

Tuesday

定例閣議の日。朝早く開催されるため普段より早く出勤し、閣議に備えます。

Wednesday

金曜日の閣議の資料提出期限。B省から持ち込まれた資料に不備がないか確認します。

Thursday

国立印刷局との打合せ。現状や今後の課題等について幅広く意見交換します。

Friday

火曜日の閣議で公布決定された法令が今日の官報に掲載されていることを確認の上、閣議書に公布日を記します。



Private Time

平日は、あまり子供たちと一緒にいることができないので、それを取り返すべく、週末はきっちり休んで家族との団らんです。まだまだ小さい子供たちですが、日々の成長には驚かされます。子供たちと一緒にいることで、私自身、月曜日から始まる仕事へのエネルギー補給にもなります！